

# 2021年度第1回 一般社団法人日本箱庭療法学会研修会のお知らせ

主催：一般社団法人日本箱庭療法学会

日 時： 2021年7月25日（日）10：00～16：00（受付9：30～）

会 場： 京都リサーチパーク（京都市下京区中堂寺栗田町93）

## ご挨拶

日頃、さまざまな心理臨床の現場に携わっておられる皆さまには、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

コロナ禍の中で、昨年度第1回の全国研修会は、開催を見送らざるをえませんでした。

第2回の全国研修会はオンラインを活用することで、何とか、東京のAP品川で開催させて頂くことができました。そして、2021年度第1回の全国研修会は、オンラインの功罪も了解した上で、2年ぶりに京都で、オンサイト参加とオンライン参加の混合で、開催させて頂く運びとなりました。どうぞご参集下さい。

全体会では、京都メンタルヘルス研究所・京都大学名誉教授の山中康裕先生に、ご登壇頂きます。今から40年以上も前に出版された『少年期の心』に焦点をあて、先生ご自身がなされた箱庭の息吹に満ちた興味深い事例を、お話し頂きます。箱庭の原点に戻って、今一度、じっくりと箱庭の世界を体験して頂けるものと思います。とりわけ、箱庭療法は、オンラインで凌ぐことが困難な療法で、学会員の皆さまには、現在の状況に困惑なさっている方も多いかと思います。どうか箱庭療法の醍醐味を、各々の心の中で薄れさせないためにも、イメージの中で箱庭療法の力を感じ、追体験して頂ける機会となれば幸いです。

後半では、6つの分科会を設けております。事例を募集している分科会もございますので、どうぞ奮ってご応募下さい。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2021年6月吉日

一般社団法人日本箱庭療法学会 研修委員長 川戸 圓

## <開催要領>

### 1. 定 員：250名（オンサイト／オンライン）

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、会場に会場いただく「オンサイト」参加と、ZOOMを使用して視聴していただく「オンライン」参加の選択可能な混合開催となります。なお、今後の感染状況等に応じて、開催方法など変更の可能性がありますことご了承ください。

### 2. 参加資格：心理臨床の事例に関して守秘義務を負うる、以下の条件のいずれかを満たす方とします。

- ①一般社団法人日本箱庭療法学会会員
- ②箱庭療法を導入・または導入を検討中の児童相談所・児童養護施設等の心理職に従事されている方
- ③臨床心理学およびその関連領域で心理臨床の実践的な仕事に従事されている方
- ④心理臨床を専攻する大学院生

### 3. 参加費：学会員：4,000円 非会員：7,000円 大学院生（非会員）：5,000円

### 4. 研修ポイント：本研修会への参加は、臨床心理士教育・研修規程別項第2条（3）により、一般参加者は2ポイント、事例呈示者は4ポイント取得となります。

## 5. 研修内容：

### (1) 全体会：10：00～12：00

テーマ：「私の箱庭体験から」

講師：山中 康裕 氏（京都ヘルメス研究所・京都大学名誉教授）

概要：

私は自分自身の初期の箱庭療法の経験を、『少年期の心～精神療法を通してみた影』（中公新書、初版1978年）にまとめた。そこで7つの例を通して箱庭療法の本質に迫る試みをしたのである。初めての出版からすでに40年以上経っているが、それらについて語ると、これからという若い臨床家たちから、箱庭療法の本質について多くを学ぶことができたという感想を頂いた。語っている自分自身も、まるで昨日のここのようにヴィヴィッドに語る事ができたと感じている。

全国研修会の全体会で、是非とも会員の皆さまに向けて語って頂きたいとの依頼を受けたので、お受けした次第である。

箱庭療法の創始者であるドラ・カルフ(Dora Kalff)さんとの幾つかの思い出も交えながらお話ししたいと考えている。

### (2) 分科会：13：00～16：00

以下の6グループに分かれ、分科会を行います。

**事例呈示を募集している分科会は、概要の最後に<事例募集>の表記のある分科会です。事例呈示希望者は、「6. 参加・発表申込について」をご参照の上、お申し込みください。**

#### ● 第1分科会 岩宮 恵子（島根大学）

『引きこもりと創造性』

引きこもりの問題は、いかにして社会とのつながりを作っていくのかというところに特化した働きかけになりやすく、内的な変化のほうに注目されることは少ない。

それは引きこもっている本人の来談が難しく、保護者を窓口とした働きかけになることも多いからだろう。

今回は、引きこもっている本人との面接経過のなかで、母性との融合状態からどのように社会化の方向へ踏み出すことが可能になったのか、そこに「創造性」がどのように関わっていたのか、そのプロセスを夢イメージの変遷から考えていきたい。（事例提供者：高見友理氏）

#### ● 第2分科会 河合 俊雄（京都大学こころの未来研究センター）

『箱庭とプレイセラピー』

プレイセラピーも箱庭も通常の心理療法と全く異なるとみなし、その資格がないといけないと考える人や団体もあるが、基本的なものは同じではないだろうか。ここではユング派からみたプレイセラピーの特徴を象徴性の捉え方、関係性のあり方などに関連して解説し、プレイセラピーの事例を検討したい。<事例募集>

#### ● 第3分科会 川戸 圓（川戸分析プラクシス）

『人の心が守られていることと「箱庭」のつながりについて』

虐待で亡くなる子どもたちについてのニュースほど、心理療法家はもちろんのこと、多くの人々の心を闇の中に引きずり込むものはない。

「命」を守り、「身体」を守り、「心」を守ることと、心理療法、ここではとりわけ箱庭療法とのつながりに目を向けて、「守る」とはどういうことなのかを考えてみたい。

人は、最終的には、自分で自分を守る力を育てて行くことが必要ではあろう。言い換えれば、人が自分の内なる世界を持つことが重要であろう。では、自分を守る力は一体どのように育っていくのか、そしてどのようにして自分自身の内なる世界を育てることができるのか。その問いを投げかけながら、箱庭における「守り（例えば柵、宗教的なもの等々）」の意味を考えてみたい。

虐待を受けた子供たち、守りの薄い中で育って来た子どもたちや大人たち、そのような方の箱庭療法の事例があれば、是非、ご発表をお願いします。<事例募集>

#### ● 第4分科会 桑原 知子（放送大学）

『イメージの「声」を聴く

—箱庭作品や夢、あるいは描画から、いかにメッセージを受け取るのか—』

箱庭療法における箱庭作品をどのように読み取ればいいのか、クライアントから持ち込まれた夢をどのように理解すればいいのか、とっておられる方が多いかもしれません。

箱庭作品や夢、あるいは描画などのイメージは、どのように理解すればよいのか。実はこれは、箱庭作品や夢などのイメージから発せられる「声」を聴くことだと私は思っています。実際の箱庭作品や夢、そして事例を素材として、そこに響く声を感じ取ってみたいと思います。そして、それをどのようにケースに生かしていくのか、ということを一っしょに考えてみましょう。

\* 事例を募集します。夢でも箱庭作品でも、その他、どんなイメージでも構いません。

一連の事例の発表でなく、数個の箱庭作品や夢を提示していただいてもかまいません。<事例募集>

● 第5分科会 田中 康裕 (京都大学大学院教育学研究科)

『解離のスペクトラム化と発達障害について』

「複雑性 PTSD」(Herman) や「発達性トラウマ障害」(van der Kolk) の概念が取り沙汰される今日、われわれは、心理学的なものから心的なものまでに至るスペクトラムのなかで、「解離」を理解し、さらには、「愛着」や「虐待」の問題も含めたより広い視野をもって、「発達障害」を理解する必要に迫られている。この分科会では、いじめに起因するトラウマの解消を訴え来談し、解離症状も呈した発達障害傾向のある男性の事例を、長野真奈氏に報告してもらい、掲題の「解離のスペクトラム化と発達障害」に対してどのような心理学的理解が可能なのか、さらには、イメージを用いた心理療法がこのような事例にいかにして奏功するのかについて、具体的に論じたい。(事例提供者：長野真奈氏)

● 第6分科会 田熊 友紀子 (代官山心理・分析オフィス)

『混沌・混乱の世界からまとまりの生成へ～ADHD の箱庭を考える』

注意欠如・多動の傾向のある人の内的世界は、しばしば混沌・混乱していて、子どもの場合であれば、大人が制止したり注意して「外側から」コントロールが試みられることが多い。そのようなクライエント(子どもでも大人でも)との箱庭療法では、外側からではなく、「内側から」まとまりが生じてくることをしばしば認められる。このような混沌・混乱の世界が箱庭療法のプロセスの中で、どのようにまとまり(あるいは主体)が生成されていくのかを考える。

参加者から、ADHD 的なクライエントの箱庭事例を募集します。<事例募集>

## 6. 参加・発表申し込みについて

### WEB による参加・事例発表申込方法

#### 【参加申込】

当会ホームページ ( <http://www.sandplay.jp/training.html> ) および右記 QR コードの申込フォームよりお申し込み下さい。申し込みが完了しましたら、自動返信メールが送信されます(※パソコン、スマートフォン対応)。自動返信メールが届かない場合は、日本箱庭療法学会全国研修会事務局 ( [training\\_jast@sandplay.jp](mailto:training_jast@sandplay.jp) ) までお問い合わせ下さい。



#### 【秘密保持に関する誓約書の提出について】

今年度より、参加者の皆様に事例発表内容に関して「秘密保持に関する誓約書」の提出をお願いすることになりました。誓約書をご提出いただけない場合は、大会・研修会への参加をお断りすることになります。また、誓約内容に違反された場合、大会参加資格の停止、研修会参加資格の停止等の措置をとらせていただきますこと、ご了承くださいませようお願いいたします。



誓約書の提出方法は、参加申込完了後に誓約書フォームへの入力画面に移動しますので、内容をご確認いただき必要事項にご記入ください。参加申込時に提出できなかった場合は、右記の「QR コード」の入力フォームにご記入いただき提出をお願いいたします。

#### 【事例発表申込】

上記と同様の申込フォームよりお申し込みいただけます。事例発表を「希望する」にチェックし、申込フォーム上にある<事例概要記入シート>にご記入の上、別途メール添付で日本箱庭療法学会全国研修会事務局 ( [training\\_jast@sandplay.jp](mailto:training_jast@sandplay.jp) ) までお送りください。参加申込締切後、事例発表の可否について、事務局よりご連絡いたします。

※<事例概要記入シート>は、当会ホームページからもダウンロードしていただけます。

※ **事例発表申込締切：2021年6月23日(水)【必着】**

※ **参加申込締切：2021年7月2日(金)【必着】**

- ・お申し込みは、原則として先着順とさせていただきます。
- ・分科会コースの通知はおこなわず、お申し込みいただいた分科会で受付けさせていただきます。
- ・定員となった分科会より締め切らせていただきます。希望者多数の場合にはご参加いただけない場合がございますので、予めご了承ください。

## 7. 参加費振込みについて

- ・自動返信メールもしくは、返信 FAX を受領後に、以下の口座へ参加費をお振込みください。

### <郵便局・ゆうちょ銀行から振り込まれる場合>

振込先： 00900-8-233788

加入者名： 一般社団法人日本箱庭療法学会研修委員会

### <他金融機関から振り込まれる場合>

銀行名： ゆうちょ銀行

店番： 099

預金種目： 当座

店名： ○九九店（ぜろきゅうきゅう店）

口座番号： 0233788

- ・振込される際に、自動返信メール内に記載されている【受付番号】をお名前の前に必ずご記入のうえ、お手続きください。（例：8528 ハコニワカ）
- ・振替用紙を使用される場合、通信欄には「2021 年度第 1 回全国研修会参加費」と自動返信メール内に記載されている【受付番号】とお名前をご記入ください。（例：8528 ハコニワカ）
- ・納入された参加費のご返金はできませんので、予めご了承ください。

## ※ 参加費振込締切：2021年7月9日（金）

## 8. 研修ポイントについて

シンポジウム、分科会の両方に参加した方には、日本臨床心理士資格認定協会「臨床心理士教育・研修規程別項」第2条(3)「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」の通り、受講者には2ポイント、分科会での事例発表者には4ポイントが付与されます。参加証が研修証明書の代わりになりますので、参加証をご希望の方は申込時に「参加証の発行について」の項目で【希望する】にチェックを入れてください。

## 9. 参加証について

オンサイトで参加された方には、当日受付にて参加証をお渡しいたします。

オンラインで参加されて参加証をご希望の方には、研修会終了後、参加されたことを確認のうえお送りいたします。

## 10. 会場案内

京都駅より JR 嵯峨野線（山陰線）1 駅  
丹波口駅下車 西へ徒歩 5 分

※その他のアクセスについては、  
京都リサーチパークホームページを  
ご参照ください。

(<https://www.krp.co.jp/access/>)

## 11. 研修会に関するお問合せ先

一般社団法人日本箱庭療法学会  
全国研修会事務局

E-mail : [training\\_jast@sandplay.jp](mailto:training_jast@sandplay.jp)

